

③ビオトープどうしの交流

ビオトープがたくさんあると、生きものがほかのビオトープへ移動しやすくなります。そうすると、生きものの交流がさかになります。いなくなってしまった生きものが帰ってきたり、減ってしまった生きものの数を元にもどすことができるのです。



みんなの学校はどこにあるかな？
さがしてみてね！



ビオトープって何だろう？

ビオトープは「生きものの住む場所」という意味です。
BIO（生きもの・いのち）とTOP（場所）の2つがくっついてできた言葉なのです。

もともとはドイツという国でできたことばなんだよ！



BIOTOP

ビオトープ（生きものの住む場所）

①ビオトープの種類

ビオトープにはいろいろな種類があります。さまざまなビオトープにたくさんの小さな生きものたちが生活しているのです。



生きものがある場所はみんなビオトープなのね。



②ビオトープにあつまる生きもの

※注意！生きものさがしをするときは先生やお父さんお母さんにそうだんしてね！

ビオトープにはたくさんの種類の動物や植物、微生物が生活しています。ビオトープにはさまざまな「いのちの営み」があるのです。

木立(こたち)のビオトープ

タマゴをうむ



シオカラトンボ

体が大きくて、オスはおなか白くなります。(メスは黄色)



クロスジギンヤンマ

体が大きくて、むねに黒いじがははっています。

ガマ



秋になるとソーセージのような穂がでできます。

ヨシ



アシともよばれています。秋になると穂がでできます。

オギ



秋になるとうつくしい穂が風になびきます。

メジロ



スズメよりも小さく体が緑色。目のまわりが白いのがとくちょうです。

ジジウカラ



むねからおなかにネクタイのような模様があります。

おとなになる

池と草地のビオトープ

エサにする



シオカラトンボのヤゴ

体が小さくてふとっています。毛がもじゃもじゃしています。



クロスジギンヤンマのヤゴ


体が大きくてやせています。体のひょうめんがつるつとしています。

たまにエサにする



アメンボ

体がほっそりしています。水の中にもぐれません。



ハイロゲンゴロウ

小さいゲンゴロウです。体の色はうすく、はんでんがあります。

かくれがにするタマゴをうむ

メダカ (メス)



目のいちが高いのでメダカといいます。尻びれが広いのがとくちょう。

モツゴ



メダカとくらべて尾びれがとがっています。体に黒い線があります。

エサにする

蝶(チョウ)と草地のビオトープ

カラムシ



とても高くまで育ちます。寒さにあまり強くありません。

ハナウド



キアゲハのよう虫のだいこうぶつ。小さな白い花をさかせます。

おとなになる

アカタテハのよう虫



葉っぱを丸めてすみかを作ります。体にはたくさんのとげがあります。

キアゲハのよう虫



さなぎになるまで、なんかいも体の色をかえていきます。

エサにする

フッドレア



みつがたくさんあるので、チョウがたくさんあつまってきます。

蜜(みつ)をすう

アカタテハ



おとなになると、あざやかな色の羽がはえてきます。

キアゲハ



とても大きいチョウです。黒と黄色のもようがとてもきれいです。

ビオトープにはほかにもたくさんの生きものでにぎわっています。ビオトープは生きものたちにとって、とてもたいせつな場所なのです。